

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート（年度評価）

所管部課	福祉部	介護福祉課
評価対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	

### I 指定管理の概要

施設概要	名 称	龍ヶ崎市総合福祉センター				
	所在地	龍ヶ崎市川原代町5014番地				
	関係条例等	龍ヶ崎市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例 龍ヶ崎市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例施行規則				
	設置目的	高齢者の健康増進や教養の向上など、社会福祉を効果的に推進し、高齢者及び身体障がい者の自立的生活の援助並びに心身機能の向上を図ることを目的とする。				
利用料金制		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">非利用料金制</div> ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制				
指定管理者	名 称	社会福祉法人 龍ヶ崎市社会福祉協議会				
	所在地	龍ヶ崎市馴柴町834番地1				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の福祉活動促進（ボランティアの育成、交流サロンりゅうなど）</li> <li>・ 地域福祉協働事業（ふれ愛クリスマス、ふれ愛給食サービス事業など）</li> <li>・ 相談・支援事業（ふれあい相談サロン事業、福祉の店ひまわりなど）</li> <li>・ 受託事業（総合福祉センター、ふるさとふれあい公園など）</li> <li>・ 指定事業所部門（障害福祉サービス事業所あざみなど）</li> </ul>				
指定管理業務の内容		(1) 事業に関する業務 ① 高齢者の健康増進・介護予防、教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ② 入浴サービスに関する業務 ③ 長寿会連合会の運営援助に関する業務 ④ 市の敬老会事業に関する業務 (2) 施設の運営に関する業務 ① 総合福祉センターの使用に関する業務 ② 利用者サービスの提供に関する業務 ③ 広報・宣伝に関する業務 (3) 施設の管理に関する業務 ① 建築物及び設備の保守管理に関する業務 ② 環境維持管理に関する業務 ③ 施設保全に関する業務 ④ 物品管理に関する業務 ⑤ 危機管理に関する業務 (4) 自主事業 (5) その他の業務				
指 定 期 間		令和元年度 ～ 令和5年度（5年間）				
総合評価（年度評価）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		B	B			

## 【龍ヶ崎市指定管理者選定委員会からの前年度指摘等事項への対応】

### 【新たな利用者の掘り起こしをはじめとする利用者増に向けた取組について】

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新たな利用者の掘り起こしが期待できるイベント・行事を開催することができず、また、新規事業（教室・講座等）に関しても同様な状況下であったことから、次年度以降の実施に向けた準備作業として、全体構想やコンセプトの設定、その具体例のイメージづくり、さらには、利用者アンケートを通して市民が望む事業内容の傾向を把握するなど、様々な取組を行ったところである。

なお、本年度（令和3年度）はこれを踏まえ、予算計上の有無や人員体制を考慮しつつ、より現実性のある内容にブラッシュアップするなど、発展的な取組を進めていく予定である。併せて、施設の利便性を高めるため、多目的室の小上がり（畳スペース）の撤去及び床改修を実施し、通常時における利用スペースの拡大を図るなど、ハード面での取組も実施したところである。

### 【新型コロナウイルス感染症対策など安心して施設利用できる取組について】

受付時の非接触型による検温や手指消毒の徹底を行うほか、施設利用を市民のみに限定し、かつ、各居室には利用定員を設定し、密にならないように制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症対策を実施している状況である。特に、浴室の利用に関しては、これまでの自由な形から、時間制限（30分）と人数制限（1回当たり3人まで）を設けた上、個人を特定できる完全予約制とするなど、安心して施設利用できる取組を行っている状況である。

また、そのような中、令和元年度から取り組んでいる開館時間の延長（9:00～16:30⇒9:00～17:00）は継続して実施しており、多くの市民に利用いただけるよう配慮しているところである。

## 2 評価結果

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
I 【有効性】施設の設置目的の達成に関する取組み など	50	-----	30
(I) 施設の設置目的の達成に向けた取組み			
① 事業計画書等で示す各種事業やイベントは適切に行われたか。また、当該年度の管理運営目標を達成できたか。	30	B	18
② 施設の利用者数の増加や利便性を高めるための取組みがなされたか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られたか。			
④ 施設及び備品は適切に維持管理がなされたか。			
⑤ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動がなされたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
<p>① 事業計画書等に基づき、施設及び設備の運営・維持管理が適切に行われている。</p> <p>また、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響から、指定事業や教室・講座、多くのイベント・行事などが中止せざるを得ない状況が続いたものの、その取扱いについて、市側の指示に従いながら迅速に対応するなど、利用者の安全・安心を第一に考えた柔軟な取組がなされたところである。</p> <p>なお、数値目標（市からの要求水準）として年間利用者数を43,000人にすると掲げているが、新型コロナウイルス感染症対策として、すべてのイベント等を中止したことや一部施設の利用中止・利用制限等を実施していることが大きく影響し、令和2年度の利用者数は、16,329人ととどまる結果となる（一部施設の利用中止期間を考慮した通年換算でみると22,848人）。</p> <p>しかしながら、この目標値は大きな設定値とも言えることから、これに関しては段階的に増やしていき、指定期間内（令和元年度～令和5年度）において、最終的に達成できるよう目指し業務に取り組んでいる状況である。（平成27年度：31,558人／平成28年度：34,965人／平成29年度：40,964人／平成30年度：41,129人／令和元年度：36,666人（通年換算39,552人））</p> <p>② 令和2年度は、コロナ禍において長寿会連合会主催の多くの行事が自粛となり、会員同士の交流が減少してしまうおそれのある中で、事業計画書等で示した長寿会連合会の運営援助のひとつとして、「ラジオ体操運動」を企画し実施している。各会員が各々の自宅にて毎朝ラジオ体操を行い、ともにカラダを動かす機会をつくることで、約3,000人の会員が離れていても一体感を共有できる上、健康効果も期待できるものとして企画し実施した事業である。施設の利用者増にはつながらないものの、このようにコロナ禍に応じて工夫した取組を行う姿勢は評価に値する事項と言える。</p> <p>また、ヘルストロン室の環境改善や多目的室の一部改良など、利用者ニーズに応じた対策を講じているほか、施設・設備の緊急修繕や小規模で簡易的な修繕等にも速やかに対応するなど、施設の利便性及び安全面に配慮した取組を行っている。</p> <p>③ 長寿会連合会等主催のスポーツ大会やクラブ活動等のイベント・行事を実施するに当たっては、隣接するふるさとふれあい公園を利用するなど、その周辺エリアの地理的利点を活かした、施設間の有機的な連携が図られている。</p> <p>④ 施設・設備・備品の定期的な点検が行われており、適切な維持管理がなされている。</p> <p>⑤ 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を様々に講じている中、イベント・行事の中止や一部施設の利用中止・利用制限、施設利用に当たってのルール等について、館内へのポスターの掲示やチラシの設置、デジタルサイネージによる情報発信を行うなど、高齢者を中心とした利用者にも分かりやすい形で周知している。</p> <p>また、広報紙（りゅうほー・社協だより）や公式ホームページを活用し、より広い広報活動が行われている。</p>			

(2) 利用者の満足度		20	B	12
①	利用者アンケート等の結果，施設利用者の満足が得られているか。			
②	利用者の意見を把握し，それを反映させる取組みがなされたか。			
③	利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④	利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤	その他利用者満足度を向上させるための具体的な取組みがなされたか。			
【評価の理由，要因・原因分析】				
① 12月から3月にかけて約4か月（R2.12.1～R3.3.25），施設利用者を対象としたアンケート調査が実施されており，128人から回答が寄せられている。 なお，調査結果の概要に関しては，「施設・設備・備品の満足度（利用しやすいか）」の項目では，「利用しやすい」と回答した人数は82人（64%），「事業やイベントの満足度」の項目では，「満足」と回答した人数は106人（83%）という結果であり，数値目標（市からの要求水準）として掲げている80%をクリアしている状況である。さらに，「今後も施設を利用したいか」の項目では，127人（99%）が利用したいと回答しており，リピート率に関しても非常に高い水準であることが確認できる。				
② 利用者より寄せられた意見・要望については，適切に市へ報告されている。 なお，令和2年度においてはその対応として，これまで多くの要望を受けていたヘルストロン室の環境改善や多目的室の一部改良など，利用者ニーズを反映させるための様々な取組が行われている。				
③ 利用者間にトラブル等が生じた際には，職員が仲立ちするなどして，穏便に解決を図るように心掛けている。 また，苦情に対しては，内部で話し合いを行い，再発防止に努めている。（苦情は書類に記録し，保管している。）				
④ 新型コロナウイルス感染症に関連した施設の利用中止の案内などをはじめ，急を要する連絡事項については，状況に応じて利用者へ電話をかけるなど，迅速かつ丁寧に対応している状況であり，また，イベント開催時や，施設及び設備に不具合が生じた際には，館内の掲示板やデジタルサイネージ，公式ホームページなどを活用し，速やかに利用者へ情報提供するよう努めている。特に，イベントの事前告知は，早い段階から行うなど，利用者の視点に立ち十分な取組がなされている。				
⑤ 浴室排煙窓オペレーターの修理や自動火災報知設備の修繕を行うほか，浴槽・更衣室の特別清掃（日常清掃・定期清掃以外で実施。カビやヌメリの除去など）や空調機フィルターの清掃を実施するなど，快適な利用環境の創出とともに，利用者の満足度向上に向けた取組がなされている。				

評価基準及び評価のポイント		配点	評価 RANK	得点
2 【効率性】 効率性の向上等に関する取組み		20	-----	12
(1) 指定管理業務に係る経費の低減 など		20	B	12
①	施設の管理運営に関し，経費を効率的に低減させるための取組みがなされたか。			
②	収支計画に沿った予算の適切な執行がなされたか。			
③	清掃や警備，設備の保守点検等の業務は適切な水準で行われたか。また，再委託している場合は経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			



(2) 平等利用, 安全対策, 危機管理体制 など				
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されていたか。	15	B	9	
② 利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。				
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
④ 防犯, 防災対策などの危機管理体制が適切であったか。				
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				
【評価の理由, 要因・原因分析】				
<p>① 過去に, 利用者の個人情報保護を目的として, 窓口に設置している利用者受付名簿を氏名の記入から利用者カード番号の記入へと変更するなど, 窓口での受付方法を改善した経緯がある。さらに, 令和2年度からは, 利用者登録台帳を紙媒体の管理からシステムでの管理に移行し, 利用者情報の漏洩リスクの軽減を図る取組を行うなど, 情報セキュリティ面の改善・強化に努めている。</p> <p>② 施設利用に当たっては, 様々な個人利用者や団体, クラブが利用している中, 特定の者等に偏ることなく, 平等な取扱いがなされている。</p> <p>③ 利用者の安全確保のため, 毎日, 福祉器具の点検や館内・駐車場など敷地内の見回り点検を行うなど, 事故防止に努めている。</p> <p>また, 浴槽の残留塩素濃度を1日に2回測定し, 入浴サービス利用者に対する安全対策を講じている。</p> <p>④ 緊急対応マニュアルや非常時連絡体制を整備しており, 有事の際には迅速に対応できる体制を整えている。</p> <p>また, 消防署に届出をした上, 3月には利用者を含めた形で避難・消火訓練を実施している。</p> <p>⑤ 令和2年度は, 事故案件の発生はなかった。</p> <p>また, 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関しても, 状況を鑑みながら方針を定め, 一部施設の利用中止や利用制限, 来館時における利用上のルールを設けるなど, 基本指針等に基づいた適切な取組が実施されたところである。</p>				

評価 RANK	得点率	評価 RANK の内容
S	100%	目標(計画)を大幅に上回り, 優れた管理運営がなされている。
A	80%	目標(計画)を上回る管理運営がなされている。
B	60%	目標(計画)どおり適正に管理運営がなされている。
C	40%	目標(計画)を下回る管理運営がなされている。
D	20%	目標(計画)を大幅に下回る管理運営がなされている。
E	0%	不適切な管理運営がなされている。

### 【総合評価】

合計得点	60点	総合評価	B
------	-----	------	---

#### [総評]

総合福祉センターは高齢者の安らぎや憩いの場であり, 数多くの個人利用者や団体, クラブ等に利用されている。令和2年度の利用者数は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として, 一部施設の利用中止・利用制限を実施していることも影響し, 目標値の達成には至らなかったが, これについては一部不可抗力な部分があると認められるほか, 目標値自体も大きな設定値とも言えることから, 段階的に増やしていき, 指定期間内(令和元年度~令和5年度)において最終的に達成できるよう目指し, 業務に取り組んでいる状況である。

また, 施設・設備の緊急修繕や小規模で簡易的な修繕等にも速やかに対応しており, 利用者から寄せられた意見・要望に対しても, 施設内の環境改善をはじめとして計画的かつ適切に実施するなど, 利用者の満足度向上に向けた取組がなされている。

なお, 当然のことではあるが, 市指定管理者選定委員会から受けた前年度の指摘事項等に対してもしっかりと対応し, 適切に改善等されていることは評価できるところである。

一方、施設の管理では、設備機器の緊急修繕が多く発生しており、利用者に配慮しながら実施しているものの、築30年を過ぎている現状を考えると、老朽化の進行から抜本的な改修等を行う時期にきていると推察される。そのような中、今後、利用者の満足度向上に向け、より高い水準での施設の管理運営を目指していくためには、施設の設置目的や理念を踏まえつつ、高齢者のライフスタイルや利用者のニーズを的確に捉えた目標を設定し、その目標達成に向け業務に取り組んでいくことが重要である。

さらに、施設をより効果的に活用するためには、稼働率の低い居室に対し、新たな事業（教室・講座等）の導入をはじめ、策を講じて利用を促進するなど、現状において抱えている課題等への対応に関しても必要不可欠である。

**[改善を要する事項]**

- ・利用者の視点に立った利用しやすい施設運営等について検討を行うこと。
- ・稼働率の低い居室に関して、新たな事業等の導入をはじめ、利用促進につながる活用方法の検討を行うこと。

総合評価	総合評価の内容	合計得点
S	特に優れていると認められる。	90点以上
A	優れていると認められる。	70点以上 90点未満
B	適正であると認められる。	60点以上 70点未満
D	努力を要すると認められる。	50点以上 60点未満
E	相当の努力を要すると認められる。	50点未満

**【龍ヶ崎市指定管理者選定委員会の意見】**

新型コロナウイルス感染症の影響により施設の管理運営が難しい中、感染対策に気を配りながら運営にご尽力いただいております。総じて適正な管理運営がなされていると評価できる。

一方、利用者アンケート調査については改善を要する。利用者アンケート調査は、誰に、何を、何人を対象に、何の目的で調査するのか、そして、収集したデータをどのように分析して活用するのかなどを明確にして実施することにより、施設の課題解決や利用者の利便性向上などにつながっていくことが期待される。このため、延べ数だけでなく、実際に利用している実人員や団体数の把握にも努め、個人利用者と団体利用者で設問を変えるなど、工夫して取り組んで欲しい。

このほか、感染症対策により、施設の休館や営業時間を短縮するなど、利用者の確保が難しい状況にある。このような中で、これまでの経験を活かし、「新しい生活様式」に対応したサービスの在り方を進化させ、利用者が安心して施設を利用できるとともに、新たな利用需要を生み出せるよう、工夫して取り組むことを望む。

管理運営実績データ

施設名	龍ヶ崎市総合福祉センター																																										
事業計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康増進・介護予防，教養の向上及びレクリエーションに関する業務</li> <li>・入浴サービスに関する業務</li> <li>・長寿会連合会の運営援助に関する業務</li> <li>・市の敬老会事業に関する業務</li> <li>・施設の運営に関する業務</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・イベント等の開催</li> </ul>																																										
運営状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数：308日／開館時間：9:00～17:00（条例で定める9:00～16:30を30分延長）／休館日：日曜日，年末年始（12/29～1/3まで）。</li> <li>※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として一部施設を利用中止した期間あり（窓口，障害福祉サービス事業所あざみ，指定特定相談支援事業所は通常営業を継続）。</li> <li>・職員配置：4人（施設管理者1人（管理職），担当者3人（正職員2人，嘱託職員1人））</li> <li>・イベント等の開催：花見会（4月），芋煮会（12月），高齢者作品展・つるし雛展（2月～3月）等のイベントはすべて中止。健康相談（看護師による健康チェック：随時受付），シルバーリハビリ体操（毎週月曜日10:00～11:00），思い出を語ろうかい（第2・4金曜日10:00～11:30），入浴施設（10:00～16:00）等の事業も利用中止した期間あり（現在は利用制限を設けた上で実施中）。</li> <li>・職員研修等への参加：人事評価研修（9月・1月），避難・消火訓練（3月）。普通救命講習は中止。</li> </ul>																																										
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>前年度比</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>開館日数</td> <td>303日</td> <td>—</td> <td rowspan="6">※ 年間利用目標者数 43,000人  ※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として一部施設の利用中止・利用制限を行っており，個人利用による居室（浴室・ヘルストロン室・集会室）の開室日数は227日。団体利用による居室（教養娯楽室・多目的室・会議室等）の開室日数は221日。</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>34,965人</td> <td>110.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>開館日数</td> <td>306日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>40,964人</td> <td>117.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>開館日数</td> <td>307日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>41,129人</td> <td>100.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R元</td> <td>開館日数</td> <td>309日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>36,666人</td> <td>89.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>開館日数</td> <td>308日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>16,329人</td> <td>44.5%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	項目	実績	前年度比	備考	H28	開館日数	303日	—	※ 年間利用目標者数 43,000人  ※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として一部施設の利用中止・利用制限を行っており，個人利用による居室（浴室・ヘルストロン室・集会室）の開室日数は227日。団体利用による居室（教養娯楽室・多目的室・会議室等）の開室日数は221日。	利用者数	34,965人	110.8%	H29	開館日数	306日	—	利用者数	40,964人	117.2%	H30	開館日数	307日	—	利用者数	41,129人	100.4%	R元	開館日数	309日	—	利用者数	36,666人	89.1%	R2	開館日数	308日	—	利用者数	16,329人	44.5%	<p data-bbox="742 1615 1157 1648">総合福祉センター利用者の推移</p> <p data-bbox="459 1960 1300 2049"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者数【R2】：年間16,329人（22,848人）／1日平均53.0人（74.2人） ⇒13,327人（7～12月，3月利用者数）÷7か月＝1,904人（月平均） 1,904人（月平均）×12か月＝22,848人（通年換算）</li> <li>・入浴サービス利用者数【R2】：年間6,631人（9,312人）／1日平均21.5人（30.2人） ⇒5,433人（7～12月，3月利用者数）÷7か月＝776人（月平均）</li> </ul> </p>
	年度	項目	実績	前年度比	備考																																						
H28	開館日数	303日	—	※ 年間利用目標者数 43,000人  ※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として一部施設の利用中止・利用制限を行っており，個人利用による居室（浴室・ヘルストロン室・集会室）の開室日数は227日。団体利用による居室（教養娯楽室・多目的室・会議室等）の開室日数は221日。																																							
	利用者数	34,965人	110.8%																																								
H29	開館日数	306日	—																																								
	利用者数	40,964人	117.2%																																								
H30	開館日数	307日	—																																								
	利用者数	41,129人	100.4%																																								
R元	開館日数	309日	—																																								
	利用者数	36,666人	89.1%																																								
R2	開館日数	308日	—																																								
	利用者数	16,329人	44.5%																																								
利用状況																																											

776人(月平均)×12か月=9,312人(通年換算)

《通年換算の考え方及び算出方法》

上記下線部の括弧内の数は通年換算による数値である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一部施設の利用中止・利用制限を行っている状況であることから、これを考慮し、利用中止・利用制限を実施した月(4~6月, 1~2月)を除く7か月(7~12月, 3月)分で月平均を割り出し、その上で年間数を求め、通年換算の数値として設定している。

利用料(使用料)  
収入及び減免の状  
況

年度	項目	実績	前年度比	備考
H28	使用料	18,300円	122.0%	※ 使用料 60歳未満の方は、 1日300円
H29	使用料	11,100円	60.7%	
H30	使用料	13,800円	124.3%	
R元	使用料	22,500円	163.0%	
R2	使用料	62,400円	277.3%	

アンケートの  
実施状況

・アンケート調査：12月1日~3月25日実施

(回答数：128人/対象者：来館者，長寿会)

質問事項	回 答						
	静養	風呂	ヘルストロン	クラブ活動	講座・教室	会議	その他
利用目的は	0人(0%)	54人(35%)	28人(18%)	72人(46%)	2人(1%)	0人(0%)	0人(0%)
開館日時は適切か	適切 100人(78%)	普通 28人(22%)	適切でない 0人(0%)				
施設・設備・備品は利用しやすいか	利用しやすい 82人(64%)	普通 44人(34%)	利用しにくい 2人(2%)				
事業やイベントは満足か	満足 106人(83%)	不満 0人(0%)	どちらともいえない 22人(17%)				
館内清掃は行き届いているか	行き届いている 96人(75%)	普通 32人(25%)	行き届いていない 0人(0%)				
職員の対応はどうか	良い 98人(77%)	普通 30人(23%)	悪い 0人(0%)				
感染予防対策の取組は安心か	安心できる 121人(95%)	安心できない 0人(0%)	どちらともいえない 7人(5%)				
市民のみの利用制限は満足か	満足 75人(94%)	不満 0人(0%)	どちらともいえない 5人(6%)				
事前の予約制は満足か(風呂利用者)	満足 34人(63%)	不満 0人(0%)	どちらともいえない 20人(37%)				
利用人数の制限は満足か(風呂利用者)	満足 28人(52%)	不満 0人(0%)	どちらともいえない 26人(48%)				
利用時間の制限は満足か(風呂利用者)	満足 28人(52%)	不満 2人(4%)	どちらともいえない 24人(44%)				
今後も利用したいか	利用したい 127人(99%)	利用したくない 0人(0%)	どちらともいえない 1人(1%)				
興味がある事業、新たに取り組んでもらいたい事業	<興味がある事業(上位5項目)> ① クラブ活動    ② 芋煮会    ③ 花見会    ④ いきいきヘルス体操 ⑤ 長寿会活動    ⑤ 元気あっぷ応援事業  <新たに取り組んでもらいたい事業(上位5項目)> ① IT(パソコン・スマホ)講座    ② 健康増進を目的とした講座    ② 暮らしに役立つ講座 ④ 趣味を充実させる講座    ④ シニア向けスポーツのイベント						
意見や要望など(自由回答)	・お風呂をこれからも長く続けてもらいたい ・お風呂の無料はありがたい。						

事業費内訳

決 算		予 算	
収 入		収 入	
指定管理料	37,554,000	指定管理料	37,554,000
繰越金	0	繰越金	0
計	37,554,000	計	37,554,000
支 出		支 出	
人件費	21,483,314	人件費	21,601,000
職員給料	14,485,000	職員給料	14,485,000
職員賞与	5,183,000	職員賞与	5,183,000
非常勤職員給与	1,815,314	非常勤職員給与	1,933,000
事業費	250,187	事業費	297,000
給食費	0	給食費	37,000
消耗器具・備品費	179,700	消耗器具・備品費	180,000
車輛費	57,087	車輛費	62,000
通信運搬費	8,400	通信運搬費	9,000
租税公課	5,000	租税公課	9,000
事務費	13,791,778	事務費	15,656,000
消耗品費	976,618	消耗品費	977,000
光熱水費	2,106,201	光熱水費	2,464,000
燃料費	2,162,271	燃料費	3,541,000
修繕費	2,012,198	修繕費	2,013,000
通信運搬費	242,694	通信運搬費	295,000
業務委託費	5,736,830	業務委託費	5,763,000
手数料	56,035	手数料	91,000
保険料	222,000	保険料	222,000
賃借料	275,331	賃借料	288,000
租税公課	1,600	租税公課	2,000
計	35,525,279	計	37,554,000
<p>収支差額 2,028,721 円は、返還金として精算している。</p>			